

2020

10|22

第5号

1・2・3面 「Zoomを使ったオンライン研修」がスタート!

4・5面 知識PLUS「テレワークの定着に向けて知っておきたいこと」

6面 オンラインイベント「福祉機器Web2020」へ出展

※連載「住宅改修事例」は休載させていただきます。

新しい生活様式の中にあっても専門職としての資質向上や情報収集を進める

## 「Zoomを使ったオンライン研修」がスタート!

2020/7/15山梨県ブロック、9/24東京都ブロック・神奈川県ブロック

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、「非日常」の中、スタートした令和2年度。国や地域に関わらず、情報収集だけでなく、多くの学びが得られる場であった大型イベントは軒並み中止、「人と会う」こと自体に様々な注意を払わなければならない状況となった。本会では、会員である福祉用具専門相談員のスキルアップのみならず、福祉用具業界全体の企画・運営に注力してきた。しかしながら、今年度は例年通りの開催が難しく、オンラインでの新たな取り組みを開始した。

### ■新たな研修の形。Zoom研修 第1弾は山梨県ブロック

山梨県ブロックは令和2年7月15日、WEB会議ツール「Zoom（ズーム）」を活用し、総会および研修会をオンラインで開催した。当初、中止する予定だったが、急遽オンラインでの実施を検討、開催に至った。密になることを避けるため、1会場6〜7人とし、2つの会場と講師を

Zoomでつないで、WEBカメラで撮影した会場の様子をもう一方の会場のプロジェクターで投影するという「小規模の集合型&Zoomの活用」形式を採用(国中会場がホストとしてZoomを立ち上げ、郡内会場がゲストとして参加)。

研修会の講師を務めたのは、金沢善智氏(株式会社バリオン代表取締役、本会理事)で、テーマは「アセスメントの重要性」。研修は、10分の休憩を挟んだ2部構成(各40分)で、スライド操作を含め、金沢氏が進行した。質疑応答は、ホスト(山梨県ブロック事務局)にマイクを移管して、発言者が各会場のWEBカメラの前で発言することで、1対1で会話をしているような状態を作った。

また、研修後には、「車いす座談会」(各会場に車いすを配備し、フリートークで意見交換)を行った。

### オンライン研修開催に当たり 必要な準備と留意点

#### 準備

オンラインでのイベント開催では、

事前に通信環境や使用アプリなどの環境設定、お互いの映り方、音声の聞こえ方などを確認しておく必要がある。

コロナ禍の中、新しい研修のスタイルを導入するための検討を始め6月12日には本部主導でプレ演習を行った。トップを切ることとなった山梨県ブロックの他、今後開催を検討しているブロックの有志が参加した。

《目的》Zoom利用に当たっての環境確認、動作確認。複数箇所をつないだ場合の検証。

《参加者》金沢善智氏、山梨県ブロック(太田良氏)、岩手県ブロック(佐藤氏)、宮城県ブロック(伊藤氏)、京都府ブロック(曾我氏)、本部(柳田)

「参加者の事前準備で必要なのは、Zoomアカウントをとる(アプリをインストールすること)、利用するメールアドレスをホストに知らせることの2点です」(柳田)。